

2 目標達成計画

事業所名： ホームとよまね2号館

作成日： 平成29年6月7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	水害においては、経営者は先代から伝え聞いている古い時代の河川状況も判断要素としている。災害における想定外要素を極力減らせる意識作りとして、今後も様々な情報に敏感に取り組まれることを期待したい。	突然の災害にもすばやく対応でき、安全に避難できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・役場作成の、浸水想定区域図を参考に、避難場所へ安全に避難する。 ・水害想定避難訓練を年一回実施する。 ・水害について考える日を設け、マニュアルの見直しや、備蓄品の見直し点検を実施する。 	12 か月
2	5	昨年の台風では行政との協力の下で迅速な避難に結び付いている。その際、細かな課題が多く発見されており、これをいかに改善していくかということは今後も行政と具体的な検討を重ねられたい。	避難場所の環境の整備をお願いし、安全に避難生活が送れるよう行政へ依頼し、出来る所から改善してもらう。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の小学校体育館について、トイレが和式で高齢の利用者は使えなかった。ポータブルトイレを用具入れに置き、使用したが、蛍光灯がすべて取り払われており、暗くて困った。蛍光灯の設置を要望していく。 ・避難所体育館入口に、階段があり、車いす利用者が不便であった。スロープの設置を行政にお願いしていく。 	12 か月
3	33	地元の医師は非常に在宅医療に協力的であり、社会の動向を見据え、看取りを含めた終末期対応について事業所として検討し、方針やマニュアルの作成を期待したい。	H29年4月から、病院の体制が変わり、5月から訪問診療が受けられなくなり、今までの医療連携が大幅に変更となった。現状での終末期対応について、本人・家族の希望に沿い、再検討していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問診療では急変時医師が来てくれ、往診も利用できたが、全てできなくなった為、今後の急変時の対応について、本人・家族と相談検討する。 ・体調の不安定が顕著となり、医療ニーズが高まった時の対応について、本人・家族と相談検討する。 ・終末期をどうしたいか、必要に応じ詳しく相談検討する。 	12 か月
4					か月
5					か月